



頌 春

上関
未来通信

豊かな町を原電とともに

上関町まちづくり連絡協議会 ● 会報

正月号

通算338号

発行 平成29年1月20日



上関町まちづくり連絡協議会

代表幹事 藤井 快宏

平成二十九年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

また、平素より『上関町まちづくり連絡協議会』の活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は熊本地震という大きな災害はありましたが、リオ五輪での山口県出身選手を含めた日本選手のメダルラッシュや、大隅良典氏のノーベル生理学・医学賞の受賞など、明るい話題も多い年でした。

上関町にとって最も大きな出来事は、上関原子力発電所建設予定地の理立免許の延長を山口県が許可したことです。県知事から発電所本体の着工時期が見通せるまで理立工事を実施しないよう要請はあったものの、建設に向けた環境がひとつ整い、建設に一步步近づいたものと受け止めています。

今、世界では原子力発電の必要性が再認識されつつあります。昨年十一月、京都議定書以来となる地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」が発効するなど、二酸化炭素排出削減の重要性がこれまで以上に高まっております。そのためには再生可能エネルギーの利用拡大に加え、原子力発電の活用が不可欠です。我が国においてもこうした考えのもと、安全確保を大前提として原子力を活用することとしており、川内原子力発電所に続き、伊方発電所が厳しい新規制基準を満たして再稼働しています。今後は、二酸化炭素の削減はもちろん、エネルギー安全保障や経済性の観点からも、再稼働だけでなく、新增設の必要性も議論されるはずで、上関原子力発電所の建設が実現するのも遠い将来ではないと確信しています。

町連協では、今年も講演会や勉強会を通じて原子力発電の理解活動を積極的に行っていきたいと考えていますので、引き続き変わらぬご支援をお願いいたします。

最後に、本年が皆さまにとりまして辛多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

平成二十九年一月吉日

2017年を迎えて

道の駅
上関海峡

町民待望の施設としてオープンした上関海峡温泉「鳩子の湯」と道の駅「上関海峡」が、昨年末にそれぞれ5周年と2周年を迎えました。今では町民の憩いの場として、また地域交流の場として親しまれている両施設ですが、より愛される施設を目指して様々な取り組みが進められています。そこで両施設長に今年の意気込みなどを伺ってみました。

上関海峡温泉
鳩子の湯

生産者と消費者の橋渡しを

Q. 昨年を振り返って

高津 ● 鮮魚の販売は、周辺市町まで知られてきたようで、光市や周南市からも来店いただいています。とくに毎週金曜日に行っている鮮魚の詰め放題は人気ですね。

昨年は様々なイベントを行いました。水軍まつりでは、初めての取り組みとして海鮮バーベキューを行いましたし、年末の2周年記念イベントは、2日間で1,100人余りの来場者で賑わいました。こうしたイベントは定例化して、行事として定着させたいと思っています。

Q. 今年の取り組みについて（集客企画やイベントなど）

高津 ● レストランでは、ずっと出したいと思っていたアナゴやクルマエビを使った料理が、昨年末にようやく実現しました。新たに海鮮カレーもメニューに加わって、かなり充実してきたと思います。

今年は地元商品の更なる充実、楽しいイベント、ここでしか食べられないおいしい料理を軸に展開していきたいと思っています。

Q. 今年の意気込み、読者へのメッセージ

高津 ● 道の駅は生産者と消費者の橋渡しをする施設だと思っています。これからも地元の台所を支えるショップとして、また、地域の交流拠点として親しまれる施設を目指したいと思います。

駅長 高津 京介氏



・北九州市出身
・水産大学校卒業
・山口県漁協を経て現職

支配人 末岡 弘乃夫氏



・光市出身
・退職後、温泉施設での研修を経て昨年10月就任

年間通じて楽しめる施設に

Q. 昨年を振り返って

末岡 ● 昨年10月に就任して感じたのは、ここはお客様から高い評価をいただいている施設だということです。とても清潔だということ、そして目の前を船が往来する景観が好評です。こんな環境は他にはないでしょう。

Q. 今年の取り組みについて（集客企画やイベントなど）

末岡 ● お客様により満足していただけるよう、施設の維持管理はもちろん、おもてなしや売店での地元土産品の充実なども図っていき

と思っています。

イベントは積極的に行っていきたいですし、通年の取り組みとして「温泉川柳」の募集と、来場者が自由に書き込める「鳩子日記」を設置する予定です。

温泉だけではなく「あそこに行ったら何か楽しいことをやってるぞ」としてもらえそうな施設にしたいですね。

Q. 今年の意気込み、読者へのメッセージ

末岡 ● 常連のお客様には続けて来ていただけるよう、新規のお客様には「また行きたい」と思ってもらえる施設を目指していきます。今年もよろしく願いいたします。



つねに新鮮さに心がけています。サザエは砂をはかせているのでまるごとどうぞ。ぜひ皆さん食べて下さい!!



上関産
クルマエビ天丼。
プリプリだぜ!!

駅長おすすめの
アナゴ重。
おいしいよ



魚介類はどれも新鮮だね!
それに安い!
とくにサザエは最高!!

今年は酉年。
「鳩子の湯」で
身も心も
癒してね!



レストランの窓から
城山歴史公園が見え
ますね。
河津桜は2月中旬から。
一足早い花見を!

その期間来られた人に
ひなあられのプレゼント
などいいかな。



2016年の出来事

- 1月 / 上関未来通信正月号発行
- 4月 / 町連協幹事会
青壮協が原産協会年次大会に参加
- 5月 / 青壮協などが海岸清掃実施
- 6月 / 町連協幹事会
- 8月 / 山口県が上関原子力発電所建設に係る埋立免許延長を許可
- 9月 / 北海道教育大学
鶴岡光子教授を
招き、勉強会と
料理教室を開催
- 10月 / 上関未来通信
21号発行
常葉大学山本隆三
教授を招き
講演会を開催
原子力の日に町内街宣
青壮協が原産協会
地域ネットワークに参加
- 12月 / 上関未来通信22号発行

私たちは「原子力発電所建設を契機とした活力ある豊かな町づくり」を目指しています。上関海峡温泉「鳩子の湯」も道の駅「上関海峡」も電源交付金を使った施設であり、雇用や地域の活性化の面でとても大きな効果をもたらしてくれています。これは私たちが待ち望んでいた町づくりが形になってきたひとつの例だと言えます。

上関町の未来に向けたシンボルであるこれらの施設を、私たち町民が愛おしみ、私たち自身の手で育てていきたいと強く思います。それが地域の一体感につながり、ひいては原子力発電所の早期建設・活力ある豊かな上関町の実現につながっていくのではないのでしょうか。

今後皆さんのご理解とご協力を、よろしく願います。今年1年が皆さんにとって良い年になりますように。(K)

後記